



非接触 3 次元測定の効率化

適切な測定位置を算出するシステムの開発

技術分野分類 5507：知能機械学・機械システム

技術キーワード 情報機器・知能機械システム

産業分類 E29 電気機械器具製造業、E24 金属製品製造業

内 容	概 要	鋳物やプレス型など、製品の形状が設計通りであることを確認するために、非接触 3 次元測定装置が使用されている(下図参照)。製品の 3 次元設計(CAD)データをコンピュータに取り込みシミュレーションを行うことで、事前に適切な測定位置を算出するシステムを開発した。
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	従来の測定は作業者が経験に基づき測定位置を決めているため、対象が複雑な形状になると試行錯誤しながら何度も測定を行っていた。本技術を用いることで、適切な測定位置が得られることから、作業者によらず測定回数を低減することができる。
	本技術の 有用性	本技術は作業者による測定の効率化だけでなく、ロボット等による自動測定にも対応できる。あらかじめ算出された測定位置をロボットに入力し、測定対象と測定装置の位置決めと測定を自動で行うことで、人による作業を大幅に低減することが可能である。
関連情報 (図・表・写真等)		<p>適切な位置を CAD データから算出</p>
適用可能製品		デジタイザ、非接触 3 次元測定装置
技術 シース 所有者	氏名 所属・役職	笠原 竹博 (かさらは たけひろ) 石川県工業試験場 電子情報部 主任技師
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	企画指導部 076-267-8081 / 076-267-8090 kikaku@iriii.jp

■知的財産 特許出願中

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2014 年 12 月 1 日